

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立洛北中学校)

1 平成26年度 重点評価項目

・わかる授業の創造 ・規範意識の育成 ・基本的生活習慣の確立

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にわらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理		自己評価 評価日 平成26年9月25日 評価者・組織 学校評価委員会		学校関係者評価 評価日 平成26年10月7日 評価者(いずれかに○) 学校運営協議会 学校評議員			
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策				
1	確かな学力	教科指導の充実 家庭学習の習慣化 基礎学力定着の推進	年2回の公開授業週間、授業アンケートの実施、教科会の充実 学年だより等での啓発 自主学習ノート 朝読書や昼学習の充実 テスト前及び夏季休業中の学習会	学習確認プログラムの結果 全国学力・学習状況調査 家庭学習をしていますか 朝読書・昼学習にしっかりと取り組んでいますか	学プロの正答率は全市平均を数ポイント上回る だいたいできているという生徒は60%程度 だいたいできているという生徒は90%弱	⇒	学プロの結果を見ると、教科指導の充実についても効果がでてきているが、授業の説明や内容がわからないという生徒が、学年・教科によって20%を超えている。朝読書・昼学習については習慣化している。	めあてをしっかりと示した授業の徹底と言語活動の充実をはかる。また中低位生徒の学力向上をはかる必要がある。 家庭学習のできていない生徒が多いので、課題の量や出し方を教科会で見直す。	⇒	わかりやすい授業をさらに進めて、どの子の学力も向上させていってほしい。 入試制度が変わって、生徒のようすはどうか。	土曜日の取り組みなどについて、地域にボランティアを募っていききたい。	
	2	豊かな心	豊かな心の育成 豊かな心の育成	生徒会を中心とした取組 1年ケータイ教室 2年非行防止教室 あいさつ運動	他人を思いやり親切にしていますか、きまりや約束を守っていますか すすんであいさつをしていますか	だいたいできているという生徒は90%程度 90%弱の生徒が、どちらかというとすすんであいさつをしている	⇒	保護者のほぼ全員が重要と考えているが、あいさつに関しては生徒ほど実現度が高くなく、生徒と保護者のとらえ方に差異がある。 落ち着いた学校の現状から規範意識も高いと考えられる。	学校内だけでなく、校外(地域)における規範意識のさらなる向上と挨拶の励行に、生徒会を巻き込んで取り組んでいく。	⇒	服装の悪い(だらしない)生徒は少ない。地域への迷惑行為も少なくなっている。	地域での立ち番や声かけなどの活動を通して、子どもたちを地域は見守っているというメッセージさらに発信していきたい。
		3	健やかな体	基本的生活習慣の確立	規則正しい生活の呼びかけ 保健だよりの配布	規則正しい生活をしていますか、朝食を食べていますか	90%を超える生徒が朝食を摂取している	⇒	ほとんどの保護者・生徒が規則正しい生活や朝食の摂取は重要と考え、家庭の協力もあり朝食摂取率は例年通り高い数字となっている。	生活のリズムの確立の向けて、家庭の協力も仰ぎながら、保健室とも連携して各学級や学年での指導をすすめる。	=	夜遅い時間に地域で生徒を見かけることがある。
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 情報発信の充実	小中合同研修会及び洛北のWA、小中教務・研究・生指主任の各会議の実施 積極的なホームページの更新	小中合同研修会等の実施状況 ホームページへのアクセス数	6月・夏季休業中の合同研修会の実施 アクセス数28010件(今年度9月24日現在)、1日平均158件	⇒	2回の合同研修会は今後の取り組みを考えていう上で参考になった。 HPは毎日の更新を心がけ、学校の様子のみならず、今年度から校長室や学年ごとの更新も行っている。結果、平日は昨年を上回る150件程度の更新がある。	洛北のWAの更なる充実をはかる。 HPは学年からの更新を増やす方向で更新の頻度を上げ、情報の発信をしていく。	⇒	いろいろ場面でごんぼっている中学生の姿をもっと知らせてほしい。	地域としても行事などを積極的に支援していきたい。	